

## 領 収 書

2020年01月21日

西崎つばさ 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
 下記の金額正に領収いたしました。  
 何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田3-1

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890



お支払条件 クレジットカード

納品場所 ご指定場所

御請求金額 5,650円 (税込)

納品期日 3営業日

| ご注文番号       | 内 容                                                            | 数量 | 単 価   | 金 額   |
|-------------|----------------------------------------------------------------|----|-------|-------|
| PAC22141728 | 品名：20号配布用<br>A4 / 両面4色 / コート90 / 1,200部 /<br>加工1：巻三つ折り<br>加工2： | 1  | 5,650 | 5,650 |
| 合 計         |                                                                |    |       | 5,650 |

## 特記事項

※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていますが、  
 印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。  
 ※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

# 西崎つばさレポート

2020 年 1 月 22 日 発行

編集部：〒152-0002 目黒区目黒本町 6-15-3  
TEL 090-1796-5099 FAX 03-4330-1880 MAIL office@n283.com



## 今こそ、本気の温暖化対策へ。

去年は、台風の脅威をあらためて思い知らされました。最近の区議会でも、防災や有事対応が、かなりの時間をかけて議論されています。

一方、風雨だけではなく、熱波や寒波、干ばつや森林火災などの災害が、これまで経験したことの無い規模で、世界各地で猛威を振るっています。なぜこんな状況になってしまったのか。今号では、その原因とされる気候変動について取り上げます。

### ■ 温暖化と大雨の関係

気温や海面水温の上昇は、大気中の水蒸気量を増加させ、台風や雨雲を発達させると考えられます。

気象庁によると、1 時間 50 ミリ以上の大雨が発生した回数は、40 年前に比べて 1.4 倍に増加。さらに 2012 年以降、全国の 3 割の地点において、1 時間あたりの降雨量が観測史上最大を更新するなど、温暖化の影響が深刻になっていることが、統計からも伺えます。

### ■ 世界および日本の動向

昨年 12 月の COP25 では、温室効果ガスの削減目標引き上げは不十分な表現にとどまり、今年から本格始動したパリ協定における市場メカニズムのルール合意も先送りされました。

日本は、脱石炭や排出削減で踏み込めずに世界の批判を浴び、環境 NGO からは不名誉な「化石賞」を期間中に二度も贈られています。

ただ、事業者レベルで見ると、気候関連の財務情報開示タスクフォース（TCFD）への国内の賛同数が世界一を誇るなど、決して関心が低いわけではなく、総論賛成・各論反対の様相を呈しています。

### ■ 目黒区の状況

では、目黒区はどうでしょうか。近年の推移を見ると、エネルギー使用量は減少傾向にあるものの、CO<sub>2</sub> 総排出量は横ばいとなっており、残念ながら努力が実ったとは言えない状況です。

現行の計画「めぐろエコ・プランⅢ」は、国に準じて 2030 年度までに 2013 年比で総排出量を 40% 削減する目標を設定していますが、独自策に乏しく、あまり意欲が見えてきません。

### ■ 気候非常事態宣言 (Climate Emergency Declaration)

ここ数年、相次ぐ異常気象を受けて「気候非常事態宣言（CED）」を表明する自治体が世界中で増加しており、日本でも昨年 9 月の長崎県壱岐市を皮切りに、少しずつ広がりを見せています。

また東京都は、パリ協定で大目標とされている気温上昇 1.5℃以下を目指すため、2050 年に CO<sub>2</sub> 排出実質ゼロを目指す「ゼロエミッション東京戦略」を発表し、気候危機行動宣言に代えました。

これらの動きに、目黒区も呼応する必要があるのではないのでしょうか。

### ■ 今こそ、考え直すとき

もちろん、温暖化対策は政治や行政だけで完結するものではなく、一人ひとりの意識と行動が変化しなければ、かけ声倒れに終わってしまいます。

若き環境活動家グレタ・トゥンベリさんに限らず、我々の子や孫、さらにその先の世代に渡す地球をどうするか。激化する災害の脅威を目の当たりにしている今だからこそ、立ち止まって考え、できることから始めてみませんか？

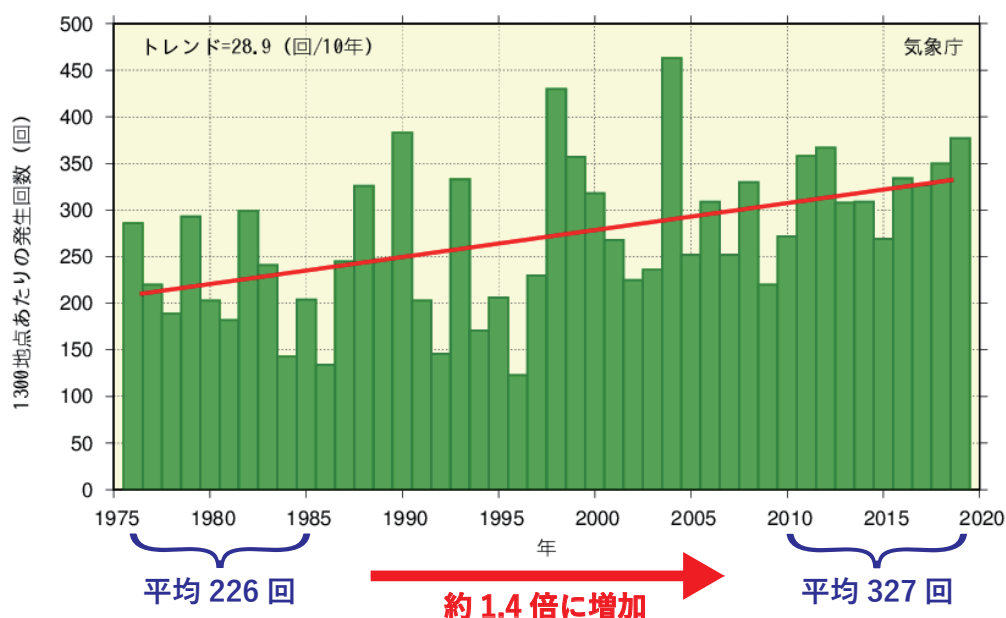
皆さまのご意見をお寄せ下さい！ office@n283.com

西崎つばさ  
プロフィール

36 歳、3 児の父。円融寺幼稚園、向原小、九中、都立青山高校、東京外語大英語科 卒業。目黒雅叙園に勤務後、手塚よしお秘書。その後、蓮舫秘書。目黒区議会議員 2 期。超党派グループ「東京若手議員の会」副代表。

## 統計 集中豪雨の発生回数の推移

全国 【アメダス】1時間降水量50mm以上の年間発生回数



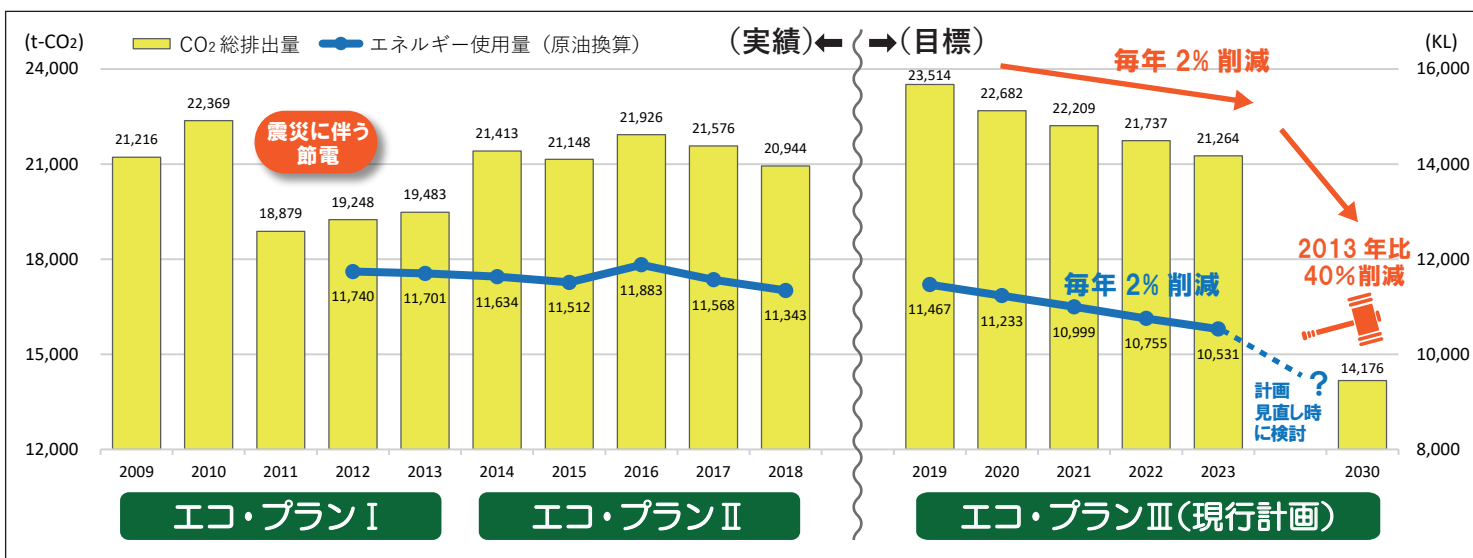
集中豪雨について明確な定義はありませんが、1時間50ミリを超える非常に激しい雨が降った回数は、有意に増加しています。

アメダスの観測期間が比較的短い（40年あまり）とは言え、地球温暖化による影響の可能性があると気象庁は指摘しています。

出典：気象庁 HP  
「大雨や猛暑日など（極端現象）のこれまでの変化」  
([https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme\\_p.html](https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html))

## 分析 目黒区のCO<sub>2</sub>排出量・エネルギー使用量

(目黒区地球温暖化対策推進第三次実行計画を基に作成)



区のエネルギー使用量は、2012年の算出開始から減少傾向にありますが、東日本大震災以降、「排出係数（発電の際に生じるCO<sub>2</sub>の割合）」が高止まりしている影響で、総排出量は横ばいの状態です。

これまで以上に、省エネの推進や再エネの活用、先端技術の導入やまちの緑化、エコオフィス活動、さらには電気調達手法の見直しなど、あらゆる方策を用いて、削減目標の引き上げに向かうべきです。

## 連携 自治体議員による気候非常事態・共同宣言

気候非常事態宣言を広げるため、日本各地の地方議員が連携して自治体に呼びかける運動が起こり、私も賛同させていただきました。今後は目黒区でも、従来を超える取り組みを求めてまいります。

1. 私たちは、気候危機が迫っていることを積極的に発信します。
2. 私たちは、2030年までに温室効果ガスを半減し、2050年までに実質ゼロにするために全力で取り組みます。
3. 私たちは、所属する自治体や日本政府に対して、「気候非常事態宣言」と実効的な対策と行動計画の立案と実施を求めます。
4. 私たちは、気候危機に対して、市民やNPO/NGOを含む諸団体、自治体や行政機関と連携した取り組みを広げます。